

経営会議の内容

件 名	横浜Ｆ・マリノスとのホームタウンの承諾について
所 管 部	文化スポーツ部 スポーツ課
日時・場所	平成２９年１月２４日（火） １１：４０～ １１：５５ 政策会議室
出 席 者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、消防長、教育部長、議会事務局長、スポーツ課長
提 出 理 由	Jクラブ横浜Ｆ・マリノスとのホームタウンの承諾を行うにあたり、その内容について了承を得るため
会議経過	【主な意見等】 ・マリノスのホームタウンにおける活動実績として１日警察署長などがあるようだが、本市においても火災予防、救急等の啓発イベントなどに協力を得られるようになるのか。 （所管部）選手のオフシーズンの時期などに関する調整は必要となってくるが、基本的には無償で協力を得られることになる。 ・本市のホームタウンチームである大和シルフィードには、どのような影響が生じてくるのか。 （所管部）現在、マリノスが本市で行っているサッカースクールでは女子も受講しており、また、毎週水曜には女子限定のレッスンを行っているなど、マリノスは既に女子サッカーへの取り組みも行っている。また、マリノスのホームスタジアムで大和市マッチデーのような催しが行われた場合、シルフィードのＰＲのため、ブースを設けることなども可能となってくる。 ・マリノスのホームタウン活動の中に、キャリア教育支援「職業講話」というものがあるようだが、現在、本市が日本サッカー協会と協定を結び、全市立小中学校で行っている「夢の教室」事業との関係はどうなるか。「夢の教室」は今後、他の競技の関係者によるものへシフトしていくのか。 （所管部）キャリア教育支援「職業講話」を行うマリノス側のスタッフはそれほど多くないので、実施は限定的になる見通しであり、「夢の教室」は従来通り実施する予定である。 ・マリノスのホームタウンであることをアピールするため、フラッグの掲出や公共施設でのポスター掲示などが求められてくるのか。 （所管部）そうした対応も想定されるが、今のところ本市においては、男子サッカーはマリノス、女子サッカーはシルフィード、というように両方を推していく形をイメージしている。 ・マリノスは、本市以外にも新たなホームタウンに関する働きかけを並行して行っているか。 （所管部）話を聞く限りでは、現在、本市だけとのことである。
会議結果	案のとおり、進めていく。